（一般財団法人）松本ものづくり産業支援センター

NEWS

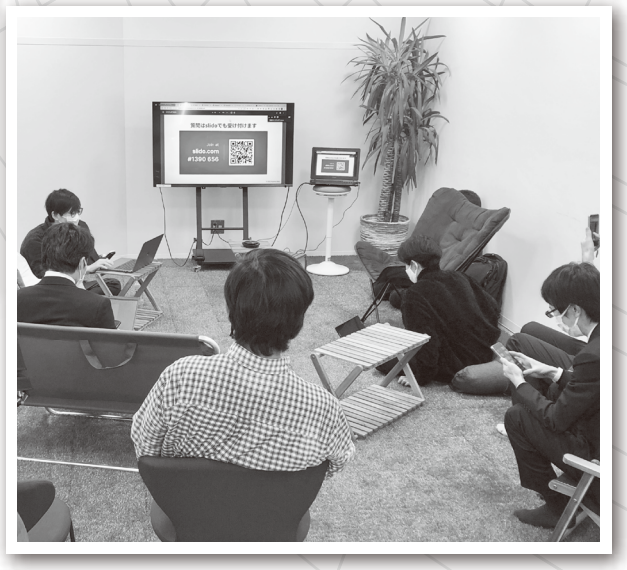
ものづくり産業支援の
ワンストップサービスを
目指します

第10号
令和5年3月発行

R4.11.25 サザンガク3周年イベント



R4.12.22 サザンガクNFT勉強会





R5.2.2 テクニカルショウヨコハマ バス視察会



R5.2.21 今井小学校５年生工場見学

目 次

1 活動トピックス

ものづくり支援担当…… 3〜8P

杉本　　守　アドバイザー

豊口　　稔　コーディネーター

広橋　　修　コーディネーター

相吉　一浩　コーディネーター

ICT支援担当…… 9〜10P

野尻　和彦　コーディネーター

宮島　正孝　コーディネーター

2 サザンガクからのお知らせ……11〜12P

3 活動報告……13〜14P

4 補助金・講習会のご案内…… 15P

NEWS 1

活動トピックス

ものづくり支援担当

杉本　守 アドバイザー

（1）市及び国補助金申請支援

・松本市製造業等活性支援事業助成金（毎年継続）　　4社採択

・ものづくり・商業・サービス補助金

11次（R4年 8月18日締切）　1社申請支援　採択（10月20日）
12次（R4年10月24日締切）　1社申請検討　別補助金申請へ
14次（R5年 4月19日締切）　1社申請支援

（2）中信地域自動化推進ネットワーク（募集中　参加費無料、研修費等一部有料）

・現在、導入部会　6社、　自立化部会　1社、
　SIer部会　9社　　計16社

・SIer部会3社による講演会＆名刺交換会
　R4年12月2日　　14-16時　　リアル開催
　ネットワーク会員同士の交流を深め、企業連携を
　促進する。



（3）生産工程スマート化診断事業（継続、無料）

松本市と関東経済産業局連携事業であり、中小機構の自動化専門家がものづくり企業の現場に入り生産工程全般を診断する。

・松本市企業 2社 診断

（4）生産工程自動化診断事業（継続、無料）

当支援センター独自の自動化診断事業であり、松本市内企業に限定。
自動化支援アドバイザーがものづくり現場を診断し、工程改善及び自動化の提案をする。

・食料品製造企業 1社 支援

当企業支援日程事例

第一回目	事前ヒアリング	R4年11月
第二回目	現場診断、経営者ヒアリング	R4年12月
第三回目	提案方向性確認	R5年 1月
第四回目	診断内容報告	R5年 3月

（5）知的資産経営実践講座（無料）

・長野県産業振興機構との共催事業

創業から積み重ねられてきた自社の強み（知的資産）を基にした経営戦略シートの作成を通じて、「知的資産経営」に関する個別企業の支援を行う。この活動を通じて、企業の業績の向上、事業展開に結び付けるきっかけづくりを行う。

・松本企業 2社 報告書作成

（6）松本市工業ビジョン中間見直し

2分科会出席

・ゼロカーボン部会
・重点課題検討部会

（7）マッチング支援

企業のニーズとシーズのマッチングを行い、中小企業の経営力向上に寄与する。

・マッチング件数 4件

豊口　稔 コーディネーター

松本市製造業等人材育成事業補助金について

松本市では、地域中小製造業者の人材育成を推進し、経営力・技術力の強化を図ることにより松本地域の製造業者が厳しい経済環境を乗り越え、活性化していくことを目的に、人材育成に関する補助制度を設けております。

補助対象者	松本市内に主たる事業所を有する製造業又はソフトウェア業に属する中小事業者及びそのグループ等
補助対象となる人材育成事業	次の団体が実施する研修で、営業力の強化、技術力の向上に資するもの ・中小企業大学校三条校　・長野県産業振興機構 ・長野県工業技術総合センター　・ポリテクセンター長野支部

・長野県松本技術専門校　　・松本商工会議所
・松本ものづくり産業支援センター
※本補助金には、交付条件があります。詳細につきましては、お問合せください。

近年の実施状況　H30（58名）　R1（7名）　R2（23名）　R3（9名）　R4（現時点　8名）
中小企業の人材不足が経営問題として大きく取り上げられています。
社員の「スキルアップ」や「リスキリング」のために、是非ご活用をお願いいたします。

松本市製造業等販路拡大支援事業補助金について

松本市では、展示会または見本市に自社で製造または開発した製品や技術を出展し、海外を含む新市場の開発や販路の拡大を求める場合の出展料(小間料)等を補助します。

補助対象者　松本市内に主たる事業所を有する製造業又はソフトウェア業に属する中小事業者及びそのグループ等

補助対象となる展示会等　国、地方公共団体等が主催、共催又は後援する展示会又は見本市（県内を除く）
※本補助金には、交付条件があります。詳細につきましては、お問合せください。

近年の実施状況　H30（26件）　R1（30件）　R2（0件）　R3（3件）　R4（現時点11件）
新型コロナウイルスの影響で、リアル開催の展示会が中止、または参加自粛によりR2年度は0件となりましたが、直近では、新たな販路開拓の動きも始まってきました。R5年度は、奮っての出展をお待ちしております。

松本市地域中核企業支援事業補助金について

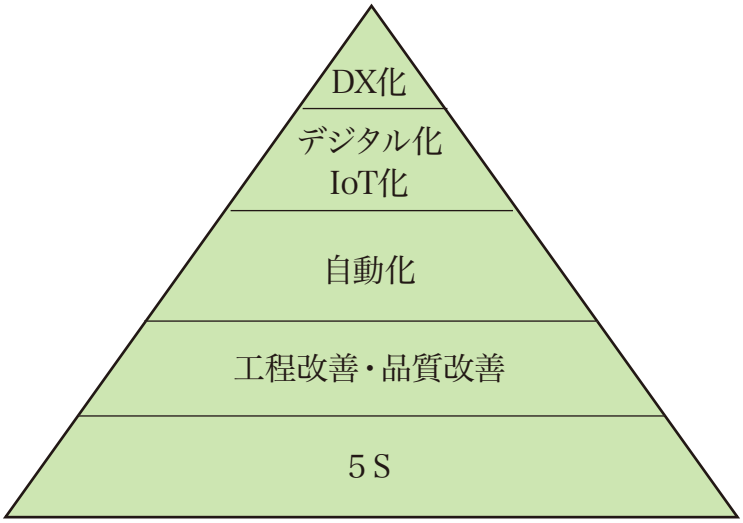
松本市工業ビジョンで重点産業に位置付けた食料品製造業の推進のため、経済産業省の支援を受けながら、食料品・飲料製造事業者向けの補助金をR2年度に創設、R4年度までの限定期間で実施いたしました。

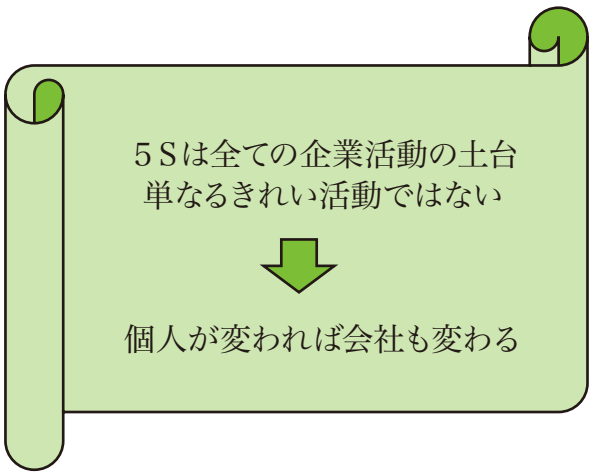
3年間の実施状況　活性化支援事業（3件）　販路拡大支援事業(海外)（1件）
施設等整備事業（3件）　施設等設置事業（2件）
本支援事業はR4年度で終了となりますが、今後は既成の補助金メニューに新しい内容で組み込みをして引き続き支援を予定しております。

広橋　修 コーディネーター

5S活動の勧め

5S(整理・整頓・清掃・清潔・躾)は、単なるお片付けや表面上のきれい活動ではありません。
5Sは、現場改善のための1stステップで、建物で言うと土台です。
このしっかりした土台の上に、各種改善活動(生産性向上、品質向上、不良率低減など)を行うことで効果が倍増します。
また、現場内コミュニケーションの活性化、スタッフの考え方を高め自主的に働く力を育てるなどの効果もあります。





まつもと5Sプロジェクト(松本商工会議所共催)

新規に5S活動に取組みたい企業はもちろん、以前に取組んだけれど全く浸透・定着しなかった企業もまつもと5Sプロジェクトに参画してみませんか。
この7年で15社が参画されています。県登録専門家の平井勝則氏が指導します。
5S指導は月1回、2時間、全12回が標準となります。
多くの事業所の本プロジェクト参加を募集しています。

参加企業募集中





まつもと5Sプロジェクトに参画された皆さんの声

【社員の声】

・

全員で取り組んだことで、
職場内のコミュニケーションが
円滑になった

・

物の置き場と量が決まり、
探す時間がかなり短くなった

・

お客様が工場見学された時に
「以前に比べて、
だいぶきれいになったね」と
褒められた

【経営者の声】

・

５Ｓ活動の継続は、
業務効率や快適な職場づくりに効く

・

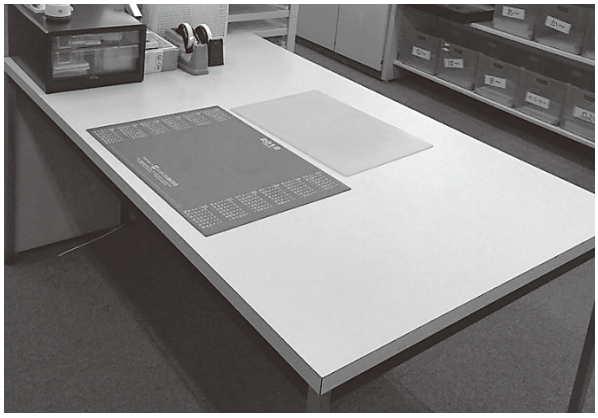
社員の
やる気とコミュニケーションの潤滑油だ

・

社員の**問題発見力と改善力**が
高まった



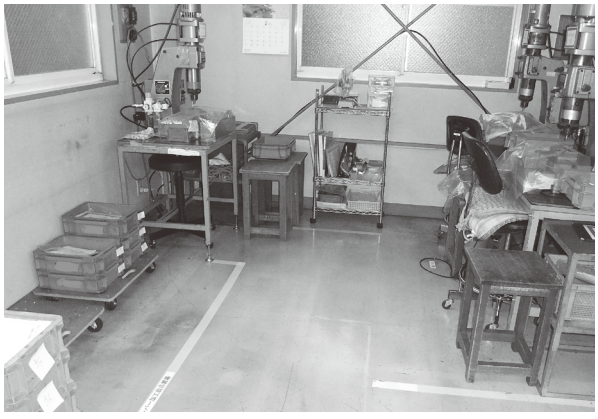
Before



After



Before



After

相吉 一浩 コーディネーター

工場の省エネツール（エアーリーク測定器）検証

工場における省エネ対策としては、大きく2つアプローチがあります。

1つは、生産性向上を行う事で、1製品当たりのエネルギー使用量を減らす事です。

そしてもう1つには、工場ユーティリティーそのものを対策していく事です。

圧空系の配管は一度設置されると、特にメンテナンスされる事なく長い年月使用される為、継手部分からのエアー漏れに気付かない事が多いのが実態です。

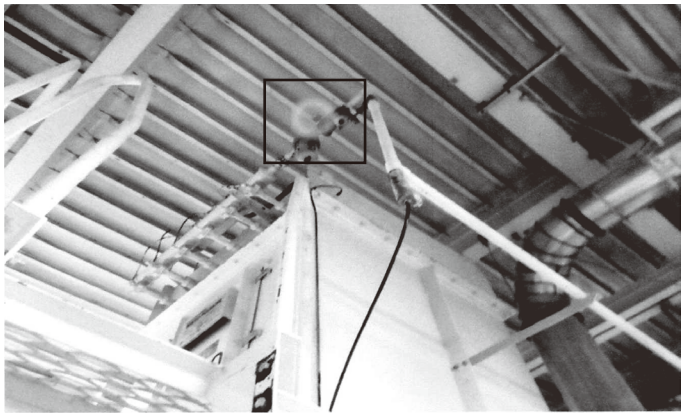
過去からこのエアー漏れを検出する為の計測器がいくつも存在していましたが、感知精度が低く、大半が実際の工場内では使用が難しい状況でした。



今回右写真の計測器を紹介して頂いたので、実際に工場内での計測精度を確認する為、実施検証を行いました。



計測器：FLIR社製　Si124
協　力：アンリツ株式会社



今回の実施検証で、工場内の数m先にある場所でも、他のノイズを拾う事なく、瞬時に測定可能である事を確認しました。

右写真のワクの中のように、計測器のモニター上では、漏れ箇所をカラー表示してくれる為、発見する事も容易であり、かなり実用性の高い商品である事が確認できました。

また、この計測器では漏れ箇所の特定と同時に、漏れ量そして損失費用の算出まで可能であり、現時点はかなり優れた計測器の1つであると思われます。

支援企業の中には、老朽化した工場を有しているところも少なくなく、この計測器を活用する事により、瞬時に漏れのある箇所を発見し、省エネに寄与出来ると実感しました。

ICT支援担当から　データ活用・データ分析はDXの第一歩

野尻和彦 コーディネーター
宮島正孝 コーディネーター

地域中小企業データ活用ブートキャンプ事業

関東経済産業局と松本市との包括連携協定により行われる当事業も本年度で2年目となりました。全体では、16社の中小企業を対象に、4自治体、2金融機関、1支援ネットワークが、関東経済産業局デジタル経済課及びデータ活用の専門家企業「株式会社クニエ」のデータアナリスト、コンサルタントなどから指導・支援を受けながら、企業内のDX人材（データ活用人材）を育成していくことを目標としています。

大きく3つのSTEPに分け、STEP1では「**データ活用の理解**」「**知的財産戦略**」「**データ分析ツールの概略**」などを学び、SETP２では「**データ分析の企画・検討**」「**計画書の作成**」、STEP3では「**実証実験**」「**報告書の作成**」などを行いました。

全9回のリモート会議形式の「**講義**」のほか、データ分析・見える化を行うツールの「**集合研修**」、1企業に特化して集中的に指導を受けられる「**個別相談会**」、さらに企業内のデータ活用の現場を直接見て指導を受けられる「**現地訪問**」など、様々な形態での指導を受けることができました。



（※写真はイメージです）

企業全体で継続的なデータ活用の取り組みは、一度に実施することは困難を伴うことが多いです。一つの部署、生産ラインや工場単位、製品の銘柄やカテゴリーなど個別的な取り組みから始め、その中での実績や経験の積み重ねを得た上で、全社的な取り組みに拡大していくという段階を踏んで成熟度を上げるのが、経営層の理解や他部署からの協力を得やすい形態と思われます。

企業内には、様々なデータがあります。既にシステム化され、実際にコンピューター内に入力されているデータのほかにも、連携されずに単独で保存されているデジタルデータや、手書きの紙上データなどがあります。先ずは業務の流れや使用されるデータの整理から始めてみると、手書きのデータにより補足されていたり、手入力により補完されることにより一連の流れが作られていたりするデータがあることに気が付くことができるでしょう。それを、タブレットなどでの簡易入力画面で入力したりバーコードやQRコードにより自動入力したりすることにより、データ入力の効率化を図ることができるようになるでしょう。

一連のデータの流れにより、「ペーパーレス化」「作業時間の減少・効率化」「品質の安定化」ひいては、「生産性の向上」につなげられるでしょう。最終的には、データにより経営判断を行う「データドリブン経営」、「販路拡大」「新商品・新サービスの開発・提供」につなげていくことができるでしょう。

「どうしたら現在の○○○を解決できるだろう」「どうしたら△△△の理由が分かるのだろう」そんなことを考えて周りを見ると、おそらく身の回りにはたくさんのデータがあることに気づくでしょう。まずは身近なところから、データを活用する・分析することに挑戦してみてください。データの見える化をするためのツールは各種そろっています。プログラミングをすることなく活用できるツールもあります。「データ活用・データ分析はDXの第一歩」先ずは出来るところから少しずつ、データの活用に挑戦してみてください。

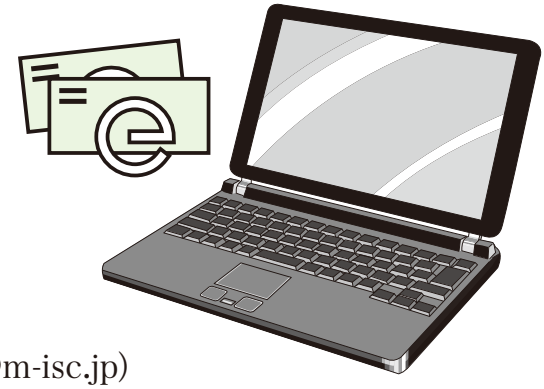


メールマガジンの受信希望企業を募集します

松本ものづくり産業支援センターでは、地域製造業の皆様へ産業支援に係る各種情報を配信する「メールマガジン」を運営しております。
インターネットを通じた情報発信・収集が主流となった今日、必要な情報を得るためには大量の情報データから探し出す必要があります。
当「メールマガジン」では、国・県・市や大学、産業支援機関から発信される各種情報を整理し、e-mailにより直接企業の担当者の方へ配信いたします。どうぞ、ご活用下さい。

配信する情報の一例

●国や県の補助金等の公募情報
●市や商工会議所の支援メニュー、補助金等の情報
●人材育成に関する研修会・講習会等の情報
●講演会、イベント等の情報
●展示会等の開催情報



◆お問い合せ◆
松本ものづくり産業支援センター（ICT担当：野尻 info@m-isc.jp）
TEL:0263-40-1000 FAX:0263-40-1001

NEWS 2

サザンガクからのお知らせ

人手不足でお困りではありませんか？

「必要な時に、必要な分だけ人手が欲しい」
「プロジェクトごとに都度採用したり、協力企業を探すのが大変」

サザンガクの「テレワークオフィス」は、事業者の皆さまのアウトソース先として、
お気軽にご利用いただけます。
・登録ワーカー　200名以上
・プライバシーマークを取得した万全のセキュリティ体制
・業務の内容に応じて専任のディレクターが人材を適切に配置

小さなお仕事でもすぐに対応いたしますので、
お気軽にご相談ください。



サテライトオフィス

　デジタル技術分野をはじめとする企業誘致の場として、全16区画をご用意しています。空き状況は、サザンガクまでお問い合わせください。
（使用料）※税・共益費込
個人ブース：月額17,000円
複数人区画：月額43,500円～（区画の規模により異なります）





3周年イベント

サザンガクは、多くの方のご支援により昨年11月に開設から3年を迎えました。これに合わせて、新しいつながりや地域での「働く」をアップデートするため、コワーキングスペースを無料開放するイベントを開催しました。(11月25日)

・コワーキング無料開放
・サテライトオフィス入居企業による製品展示
・野菜マルシェ(ほりがねーぜ様)
・ティータイム(カフェ雨間様)
・スペシャルトークイベント「実践者が熱く語る!21世紀の地方ビジネス論」







これからも、ICT の活用を通じて、
地域の事業者の皆さまを様々な面からサポートさせていただきます。

お問い合わせ

〒390-0874　松本市大手3丁目3番9号　サザンガク
電話：0263-33-0339　メール：info@33gaku.jp

NEWS 3

支援活動の報告

令和4年度中小企業総合展等出展事業（報告）（テクニカルショウヨコハマ2023）

名　　称：テクニカルショウヨコハマ2023（第44回工業技術見本市）
主　　催：公益財団法人神奈川産業振興センター、一般社団法人横浜市工業会連合会、
　　神奈川県、横浜市
会　　期：令和５年２月１日（水）～２月３日（金）
会　　場：パシフィコ横浜展示ホールA・B・C（横浜市西区みなとみらい1-1-1）13,300㎡
開催規模：759社573小間
来場者数：15,827名

令和４年度中小企業総合展等出展事業（事務局：（一財）松本ものづくり産業支援センター
共催：松本市、松本商工会議所、松本機械金工業会）として、４小間スペースを確保、４社が出展しました。

次年度テクニカルショウヨコハマ2024は2024年２月７日（水）～９日（金）開催予定となっており、引き続き出展支援を行う予定です。

なお、出展支援対象は松本市内の製造業、もしくは松本商工会議所、または松本機械金属工業会の会員事業所となっております。



有限会社伊藤製作所



有限会社ＳＩモデル



シナノカメラ工業株式会社



株式会社闘一精機

テクニカルショウヨコハマ　バス視察会（報告）

「テクニカルショウヨコハマ２０２３」のバス視察会を２月２日（木）に実施いたしました。

当センターが開催するバス視察会は、実に５年ぶり。テクニカルショウヨコハマは10年ぶりとなりました。

参加者は、企業側８名、支援側5名の合計13名が参加しました。当日は、まつもと情報創造館に集合し、朝７時にバスにて出発。途中大雪に降られることもなく、横浜中華街で早めの昼食



を済ませ、予定通り会場入り致しました。展示会では、それぞれが独創性、先進性に富んだ最新の技術・製品に、直接触れていただきました。リアル展示会ならではのことと思います。特に、「ＤＸ・ＡＩ・ＩｏＴ」や「ロボット」また今後企業が取組まねばならない「カーボンニュートラル」など興味深く見学いただきました。約２時間の短い見学時間でしたが、実りある視察会でした。

R5年度も、引き続きバス視察会を計画いたしますので、より多くの企業の皆様にご参加いただきますようお願いいたします。

なお、本視察会は主催：松本地域産学官連絡会、松本ものづくり産業支援センター、共催・後援：長野県産業振興機構松本センター、松本機械金属工業会、松本商工会議所、松本市商工課となります。



今井小学校5年生が社会科学習で工場見学しました

見学先企業　株式会社タカノ　株式会社デリカ

松本臨空工業団地管理組合にご協力いただき、今年も２月21日今井小学校５年生16名が社会科学習の一環として、地元のものづくり企業㈱タカノと㈱デリカの工場見学を行いました。

コロナ禍の影響で例年11月の行事が２月実施となりましたが、身近な地元のものづくり企業の見学を通して、工業生産に携わる人々の努力や思いに触れ、「ものづくり」の仕組みや工夫を学びました。

㈱タカノでは金属３Ｄプリンターで製造される３次元形状の製品や、パンチレーザー複合機の金属加工技術を興味深く見学しました。㈱デリカでは農業機械製造の溶接や塗装工程を見学し、完成した大型の自走マニアスプレッダーが実際に動く様子も見ました。また、電動アシスト四輪自転車「けんきゃくん」の試乗体験もあり、楽しみながら学べました。



株式会社タカノ見学



株式会社デリカ見学

NEWS 4

補助金・講習会のご案内

松本市脱炭素型大規模投資支援事業補助金

ゼロカーボン産業に取り組む企業を支援するための補助金を創設しました。

ゼロカーボン産業に取り組むために必要な建物の新設・増設・移設、償却資産の取得をする場合、その費用の一部を補助します。

※ゼロカーボン産業／国の「２０５０年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」に定める成長が期待される１４分野の中で、脱炭素化に向けた課題解決につながる製品の開発若しくは製造又はサービスの開発を行う事業

●補助対象者・要件 ／ ・市内企業、ゼロカーボン産業に取り組むために市内に新たに事業所を設置する企業
・１０年間継続して当該補助金を活用したゼロカーボン産業に取り組む企業
・設備投資額（補助対象経費）の総額が３億円以上

●補助対象経費 ／ ゼロカーボン産業に取り組むために必要な
・工場、研究施設、その他建物の新設等に係る経費
・機械、装置、器具、備品、工具、建物付属設備、ソフトウェア等償却資産の取得に係る経費

●補助率・限度額 ／ 対象経費の３％　３，０００万円

問合せ先　松本市産業振興部商工課　工業振興担当　TEL.34-3270　FAX.34-3008

小規模事業者持続化補助金

小規模事業者持続化補助金（＝持続化補助金）は、**小規模事業者が自社の経営を見直し、自らが持続的な経営に向けた経営計画を作成**した上で行う販路開拓や生産性向上の取組を支援する制度です。

●補助金額 ／ 上限50万円（2/3補助）
●補助対象者 ／ 商工会議所の管轄地域内で事業を営んでいる「小規模事業者」等
●対象事業 ／ 小規模事業者自らが作成した経営計画に基づき、商工会・商工会議所の支援を受けながら行う販路開拓等の取組を支援。

ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金

中小企業・小規模事業者等が今後複数年にわたり相次いで直面する制度変更(働き方改革や被用者保険の適用拡大、賃上げ、インボイス導入等)等に対応するため、中小企業・小規模事業者等が取り組む革新的サービス開発・試作品開発・生産プロセスの改善を行うための設備投資等を支援するものです。

●補助金額 ／ 一般型：100万円～1,250万円・グローバル展開型：100万円～3,000万円
●補助対象者 ／ 以下の要件を満たす事業計画（3～5年）を策定し実施する中小企業・小規模事業者等であること。
①付加価値額の年率3%以上向上
②給与支給総額の年率1.5%以上向上
③事業場内最低賃金を地域別最低賃金30円以上向上
●補助率 ／ 一般型、グローバル展開型：中小企業1/2、小規模事業者等2/3

問合せ先　松本商工会議所　中小企業振興部　TEL.32-5350　https://www.mcci.jp/

関係機関（市外局番0263）

松本市 産業振興部 商工課 工業振興担当 ／ 健康産業推進担当
TEL.34-3270　FAX.34-3008　　TEL.34-3296　FAX.34-3297

松本市 産業振興部 農政課 マーケティング担当
TEL.34-3221　FAX.36-6217

松本商工会議所 経営支援部ものづくり支援グループ
TEL.32-5350　FAX.32-1482

信州大学 研究推進部 産学官地域連携課
TEL.37-2087　FAX.37-3049

（公益財団法人）長野県産業振興機構 松本センター（長野県松本合同庁舎内）
TEL.40-1780　FAX.47-3380

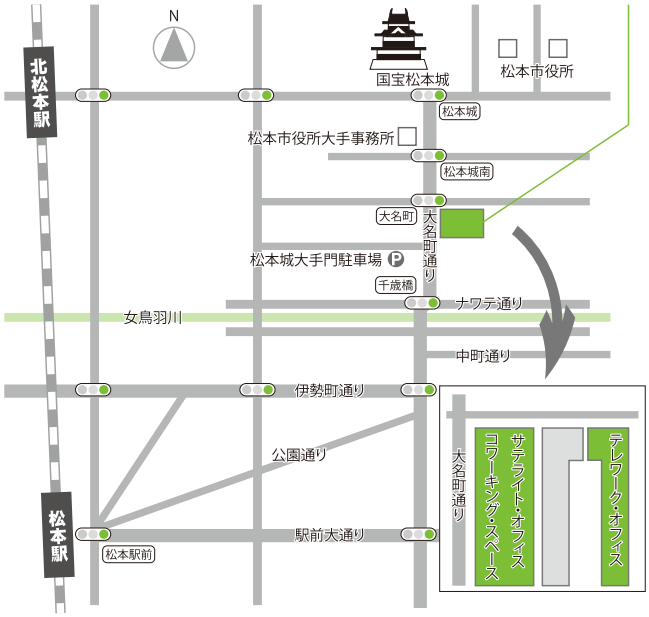
（一財）松本ものづくり産業支援センター
(松本市情報創造館庁舎　1F)





一般財団法人
松本ものづくり産業支援センター
〒390-1242　長野県松本市和田4010-27
TEL.0263-40-1000　FAX.0263-40-1001
ホームページ　https://www.m-isc.jp/

サザンガク
(NTT東日本大名町ビル 1F)



サザンガク
matsumoto collaboration space
〒390-0874　長野県松本市大手3-3-9
TEL.0263-33-0339
ホームページ　https://33gaku.jp
テレワークオフィス
コワーキングスペース
サテライトオフィス

（一財）松本ものづくり産業支援センターNEWS
第10号（令和5年3月）
発行／（一財）松本ものづくり産業支援センター
印刷／株式会社プラルト